

## 沼田市池田地区におけるニホンザル対策の取り組み 野猿動向調査と携帯電話を使ったサルの位置情報配信について

沼田市 経済部 農政課 山田 直也

### 1 はじめに

池田地区では、りんご、ブドウなど観光果樹園が多く、長い間野生鳥獣による食害に悩まされてきました。出没する鳥獣はツキノワグマ、ニホンジカ、カモシカ、ハクビシン、イノシシ、ニホンザル、アナグマ、アライグマと多岐にわたります。ニホンザルについては平成14年頃から出没が確認され、毎年農作物に被害を与えています。このため平成19年度より本格的に野猿動向調査を実施し対策を行ってきました。

### 2 池田地区における被害の状況

ニホンザルが及ぼした農業被害は次のとおりです。

平成19年度	被害金額：1,846千円
平成20年度	被害金額：384千円
平成21年度	被害金額：62千円



### 3 動向調査開始と問題点

動向調査を行うことによって大まかな動きが把握できるようになり、捕獲等の対策を行う上での基礎情報として利用できるようになりましたが、地域住民への情報伝達についてはいくつかの問題点がありました。開始当初は、農家等への伝達手段として農協池田支所に設置した野猿動向掲示板にその日のサルの位置を記入していましたが、掲示板はうまく機能しませんでした。

※問題点・なぜ機能しないのか？

調査員が家から遠い農協の掲示板に毎回記入するのは大変。

サルは池田地区に常時いないので、地域住民が掲示板を見に行くのも大変。

移動するサルの群れに対応しにくい。

#### 4 問題解決に向けて

このままでは、せっかく動向調査を行っても効果が半減してしまうことから、有効な伝達手段はないかと考えたところ、誰もが持っている携帯電話を使ってサル情報をメール配信できないかと考えました。

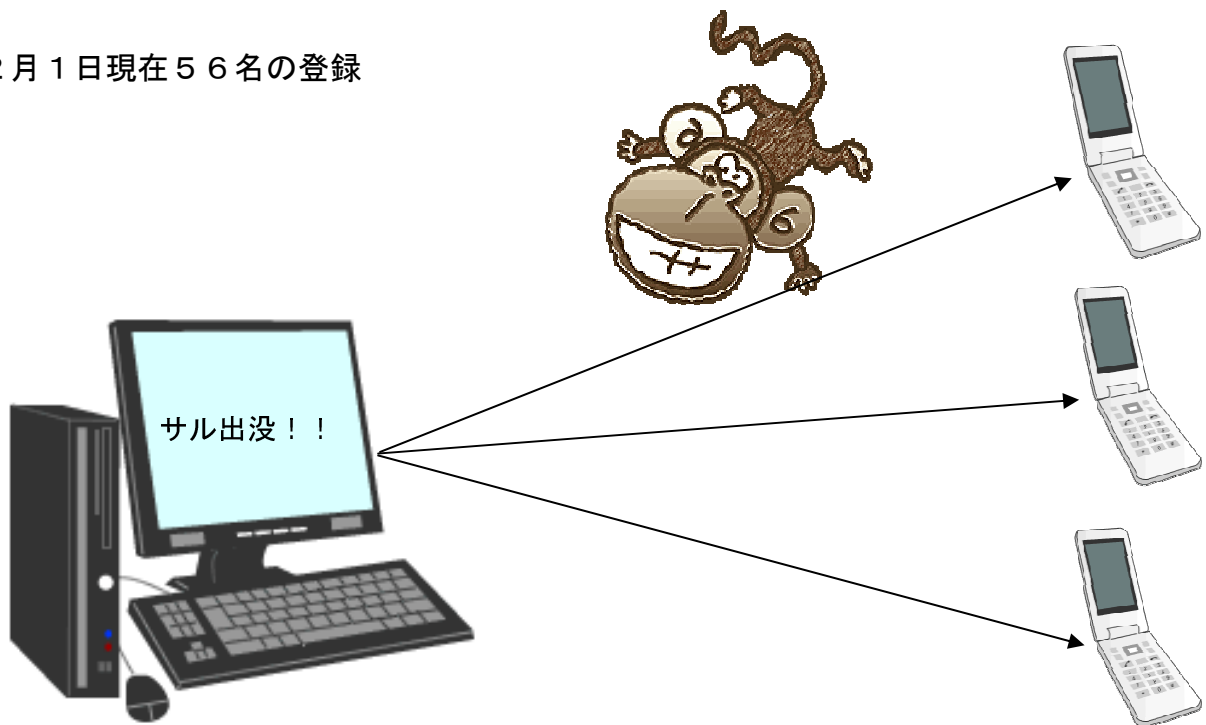
最初は池田地区に設置してある野猿接近警戒システムとリンクさせて位置情報をメール自動配信しようと考えましたが、多額の費用がかかるため断念しました。

費用がかからずリアルタイム情報を配信するにはどうすればよいか？

考えた結果は・・・メールを手動で配信する事でした。

調査員に電話で位置情報を確認し、役所のパソコンから位置情報を一斉送信することで、ちょっとした手間と導入費用なしで最新の情報を配信できるようになりました。

2月1日現在56名の登録



#### 5 効果

ほとんど費用がかからない。

サルの位置情報をリアルタイムで配信しやすい。

情報提供を随時行うことで一部地域住民が主体的に追い上げ・追い払いを行うようになった。

#### 6 今後の課題

役所が土日休みのため情報配信できない。